

## News Release

2016年12月2日  
株式会社野村総合研究所

# 「NRI 学生小論文コンテスト 2016」の入賞者を決定 ～全国の大学生・留学生・高校生が、「世界を変える、新たな挑戦」の テーマに取り組む～

株式会社野村総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:此本 臣吾、以下「NRI」)は、「Share the Next Values! 世界を変える、新たな挑戦」をテーマとした、「NRI 学生小論文コンテスト 2016」の最終審査を行いました。大学生・留学生・高校生の3つの部門で、過去最多となる合計3,103作品の応募があり、厳正なる審査の結果、3部門合わせて、大賞2作品、優秀賞4作品、特別審査委員賞4作品を選出しました。

審査は、(1)事務局による予備審査、(2)NRIグループの社員による一次審査、(3)池上彰氏(ジャーナリスト、名城大学教授、東京工業大学特命教授)と最相葉月氏(ノンフィクションライター)の2名を特別審査委員に迎えた最終審査会、の3段階に分けて行っています。

大賞・優秀賞・特別審査委員賞を受賞された方の表彰式は、12月22日(木)に都内のホテルで開催する予定です。また、同日、受賞者による論文発表を予定しています。



(最終審査会の様子)

### ■ 入賞論文タイトルおよび入賞者

#### <大学生の部>

##### 大賞

日本の森林資源ときのご栽培による砂漠緑地化プロジェクト～無から有を生み出す  
挑戦～

井上 はるか (いのうえ はるか) さん

(早稲田大学文学部中国語中国文学コース 3年)

## 優秀賞

### 昆虫飼料活用による世界の食糧問題の解決への挑戦

葦苳 晟矢（あしかり せいや）さん（早稲田大学商学部 4年）

### マイナンバーを利用した「社会奉仕活動ポイント付与制度」

城内 香葉（きうち かえで）さん（慶應義塾大学総合政策学部 4年）

## 特別審査委員賞

### 海中コロニーの建設

北村 太司（きたむら たいし）さん（慶應義塾大学理工学部電子工学科 3年）

奨励賞 10作品（11名）※

## <留学生の部>

### 大賞

該当なし

### 優秀賞

該当なし

## 特別審査委員賞

### 日本のイスラームとの関わりの再考

ハリー セイザーさん（金沢大学国際学類・国際社会コース 2年）

### 多文化共生社会を目指す—外国人女性への支援に向けて—

李 卓（り じいお）さん

（明治大学情報コミュニケーション研究科 修士課程 2年）

奨励賞 3作品（4名）※

## <高校生の部>

### 大賞

「機種変更携帯と太陽光充電器で、すべての子供たちに教育を届ける」

南口 虎太郎（みなみぐち ことろう）さん（関西学院千里国際高等部 2年）

### 優秀賞

「人間の安全保障理事会」構想 ～人類を守る、新たな安全保障の枠組み～

岡田 悠也（おかだ ゆうや）さん（創価高等学校 2年）

#### 拡張型心筋症治療の未来～心臓移植以外の手段で命を救う～

武井 綾音（たけい あやね）さん（群馬県立中央中等教育学校 2年）

#### 特別審査委員賞

##### 多数決から見た世界

柚山 高摩（ゆやま たくま）さん（名古屋市立菊里高等学校 1年）

奨励賞 23 作品（23 名）※

※奨励賞受賞者については、以下をご参照ください。

<https://www.nri.com/jp/event/contest/result/index.html>

#### ■ 小論文コンテストに込めた想い

このコンテストは、NRI が CSR（企業の社会的責任）活動の重点テーマとして掲げる「次世代の社会を担う人づくり支援」の一環として、2006 年から毎年開催しており、今回で 11 回目となります。これからの社会を担う若者に、日本や世界の未来に目を向け、考える機会を提供することを目的にしています。

今回は、日本や世界が抱えるさまざまな問題を独自の視点・切り口で提起して、その解決に向けて新たな可能性を見いだす提案を期待し、「世界を変える、新たな挑戦」を、3 部門（大学生の部、留学生の部、高校生の部）の共通テーマに設定しました。

また、従来の発想にとらわれない斬新な切り口で問題を提起することが、未来を創る第一歩になると考え、今回から「問題発見力」「問題解決力」「文章力」の 3 つの審査項目のうち、「問題発見力」の部分に与える加点のウェイトを高くしました。

審査委員による総評ならびに、各入賞論文の評価ポイントについては、【ご参考】をご覧ください。

---

#### 【ニュースリリースに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 水谷、坂<sup>ぼん</sup>

TEL : 03-6270-8100（2016 年 12 月 19 日～ : 03-5877-7100） E-mail : kouhou@nri.co.jp

#### 【コンテストに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所「NRI 学生小論文コンテスト 2016」事務局 竹内、本田

TEL : 03-6270-8200（2016 年 12 月 19 日～ : 03-5877-7555） E-mail : contest2016@nri.co.jp

## 【ご参考】

### ●総評

Share the Next Values！ 世界を変える、新たな挑戦という、今回のテーマ。

高校生や大学生である若い人たちが、希望ある未来社会の実現のため、日本や世界に山積する問題に対して「新たな挑戦」をしてほしい。日本や世界が、「そんな見方があったのか！」と驚くような、斬新な提案を期待し、審査にあたりました。

今回の特徴のひとつは、大学生の作品のレベルが総じて高く、優秀な作品が多かった点です。独自性や斬新さを持った問題提起がなされている、突き抜けた感のある優れた作品や、文章力が高く、読み応えのある作品が多かったと言えます。

高校生の作品には、世界を良くしていこうという視座の高い作品が多く、取りあげられている問題が非常にバラエティに富んでいました。「高校生がこんなことを考えるのか」と驚かされるような作品が多くて甲乙つけがたく、選考に苦勞しました。留学生の作品は、日本人目線でテーマを設定しているような作品が多かったことが特徴的でした。

普段から新聞やニュース報道等に接していれば、日本や世界に山積する問題に対して大きなテーマを掲げることは比較的たやすいと思います。しかし、「そこで自分は何をしたいか」が重要であると考えます。「新たな挑戦」という明確な姿勢を示している論文には力があり、人の心に訴えかけます。今回のコンテストでは、そのような作品が入賞論文に選ばれました。

### ●各入賞論文の評価ポイント

#### <大学生の部>

##### 大賞

日本の森林資源ときのこ栽培による砂漠緑地化プロジェクト～無から有を生み出す挑戦～

井上 はるか (いのうえ はるか) さん

(早稲田大学文学部中国語中国文学コース 3年)

##### 《評価ポイント》

活用されていない日本の森林資源を、きのこの菌床栽培(おがくずなどを固めた培地に種菌を植え付ける方法)に活かし、きのこの収穫を終えたあとの廃菌床を利用して中東の砂漠を緑地化するという斬新なアイデアを提案。そのアイデアを、世界規模の環境課題に対して持続性のある取り組みに発展させている点や、実現性の高さが評価された。本当に「世界を変える」挑戦になると、審査委員の期待感を集めた。

##### 優秀賞

昆虫飼料活用による世界の食糧問題の解決への挑戦

葦莉 晟矢 (あしかり せいや) さん (早稲田大学商学部 4年)

#### 《評価ポイント》

世界の食糧問題の解決のために、水産養殖業における主要な飼料で価格高騰が続く魚粉に代わって、人工繁殖が容易で安価な昆虫（コオロギ）を新たな餌とするという着想は、大変興味深い。水産養殖業者に聞き込み取材を行って提案の具体性を深めており、その実現性の高さに評価が集まった。自ら起業を目指す強い意志表明から、世界を変える挑戦の姿勢が感じられた。

#### マイナンバーを利用した「社会奉仕活動ポイント付与制度」

城内 香葉（きうち かえで）さん（慶應義塾大学総合政策学部 4年）

#### 《評価ポイント》

諸外国での動向や国内の災害ボランティア等の実情を踏まえ、「社会奉仕ボランティア制度」を提案。ボランティアのポイント制はすでに実施されているが、マイナンバーという最新の社会基盤の活用に着目し、自分自身の介護時に使えるというアイデアが新しい。自らのボランティア経験から問題を発見し、具体的な運用イメージを示していること、その提案力の高さ、実現可能性を評価した。文章力や論文としての完成度が高いことに加え、自身の体験からくる思いを織り込んでいる点にも心動かされる。

#### 特別審査委員賞

##### 海中コロニーの建設

北村 太司（きたむら たいし）さん（慶應義塾大学理工学部電子工学科 3年）

#### 《評価ポイント》

資源・エネルギー問題の解消、有効な公共投資、世界人口の増加の問題に対して、「海中コロニー」の建設を提案。構想が雄大で、夢がある点を評価した。すでに建設会社が提案している海中都市構想があるが、維持・メンテナンス作業にAIロボットを使用する点や、ハニカム（蜂の巣）構造のアイデアには独自性があり、興味深い。

#### <留学生の部>

#### 特別審査委員賞

##### 日本のイスラームとの関わりの再考

ハリー セイザーさん（金沢大学国際学類・国際社会コース 2年）

#### 《評価ポイント》

イスラーム世界の重要性を理解することは、日本にとって喫緊の課題であるという気付きを与えられる論文であった。日本に居住しているイスラーム教徒（ムスリム）や、インバウンド観光客のムスリムに対して、ハラール（イスラーム法で許される行為と食べ物）対応が必要であること、また、ハラール対応によって日本にお

いて大きなビジネスチャンスが生まれることを提言。日本人には発想できない、留学生としての切り口や観点を評価した。

#### 多文化共生社会を目指す—外国人女性への支援に向けて—

李 卓(り じいお)さん(明治大学情報コミュニケーション研究科 修士課程 2年)  
《評価ポイント》

多文化共生社会において必須の問題提起となる論文である。日本人男性と結婚している中国人女性に自らインタビュー調査を行って、言葉や子育て、雇用などに対する悩みについて生の声を集めている。日本人の妻と共通の問題や外国人特有の問題があるといった比較や、鋭い分析・考察は大変興味深く、高く評価したい。欧米系の妻や、逆に外国人の夫との比較など、発展的な調査をぜひとも期待したい。

#### <高校生の部>

##### 大賞

「機種変更携帯と太陽光充電器で、すべての子供たちに教育を届ける」

南口 虎太郎(みなみぐち こたろう)さん(関西学院千里国際高等部 2年)  
《評価ポイント》

学校に通えないアフリカ貧困地域の子どもの学習に、日本での携帯電話の機種交換で発生する古い機種を活用するというアイデアは独創的で、世界的な課題への壮大な挑戦ともとらえることができる。中古携帯のバッテリーと Video on Demand のソフト面・ハード面の活用の可能性を具体的に検証している点も高く評価された。SNS を通じて同世代の高校生を巻き込んだ運動に発展させようとする意思、自ら推進していきたいという熱意と勢いが、さらに評価を押し上げた。

##### 優秀賞

「人間の安全保障理事会」構想 ～人類を守る、新たな安全保障の枠組み～

岡田 悠也(おかだ ゆうや)さん(創価高等学校 2年)  
《評価ポイント》

現行の国連安全保障理事会の問題点は古くから言われていることだが、自分なりに複雑な問題を整理し、解決の方向性を提示している姿勢を高く評価した。世界情勢を良くしたいという筆者の視座の高さが感じられる。もはや国家の枠では解決しきれない地球規模の課題を解決するために「人間の安全保障理事会」設置するという発想は、大胆でスケールが大きい。課題の提起から解決策の提示に至る、論文としての構成力にも優れていた。

#### 拡張型心筋症治療の未来～心臓移植以外の手段で命を救う～

武井 綾音(たけい あやね)さん(群馬県立中央中等教育学校 2年)

#### 《評価ポイント》

長らく批判されている日本人の渡航移植の現状を冷静に分析し、心臓治療について研究。人工心臓の小型化ポンプを動脈・静脈の複数個所につけるといふ、高校生とは思えないような着想で目からうろこの治療法のアイデアを提示している。人工心臓の技術的な問題解決に果敢に取り組む姿勢は、エネルギーで挑戦的である。実現性は不明確であるが、将来に向けてこの姿勢を貫き、ぜひとも新しい革新につなげてほしいという審査委員の期待感を集めた。

### 特別審査委員賞

#### 多数決から見た世界

柚山 高摩（ゆやま たくま）さん（名古屋市立菊里高等学校 1年）

#### 《評価ポイント》

「世界を変える、新たな挑戦」というテーマに対して、多数決という課題を設定した着眼点に独自性・新規性がある。多数決の課題を分析したうえで、十分な議論や少数意見を尊重することの大切さ、多数決を正しく行うための方法を提言しており、説得力がある。「次代を担う僕たちの世代の意識が変われば、大きな世界を変えることにつながるのではないか」という筆者の思いが、審査委員の共感を集めた。文章力にも優れ、自らの言葉でしっかりと論を進めている点も評価された。

### ●コンテストの概要

- タイトル： NRI 学生小論文コンテスト 2016
- 募集期間： 大学生の部、留学生の部 2016年7月1日（金）～9月5日（月）  
高校生の部 2016年7月1日（金）～9月12日（月）
- 対象： 全国の大学院生、大学生、留学生、高校生
- テーマ： Share the Next Values! 世界を変える、新たな挑戦
- 審査プロセス： (1) 事務局による予備審査  
(2) NRI グループ社員による一次審査  
(3) 審査委員による二次審査（最終審査）  
※すべての審査プロセスは、応募者の学校名、名前などの属性を秘匿したうえで、厳正に行いました。
- 審査委員： 審査委員長 谷川史郎（NRI 理事長）  
特別審査委員 池上彰氏（ジャーナリスト、名城大学教授、  
東京工業大学特命教授）  
最相葉月氏（ノンフィクションライター）  
審査委員 NRI 役職員 6名、計 9名
- 主催： 野村総合研究所
- 賞金： 大学生の部・留学生の部

大賞 50 万円、優秀賞および特別審査委員賞 25 万円、奨励賞 5 万円  
高校生の部

大賞 30 万円、優秀賞および特別審査委員賞 15 万円、奨励賞 3 万円